

三浦半島地域連合議員団会議・地域外視察を実施! 神奈川県内広域水道企業団 & 神奈川県議会・県庁を視察!

三浦半島地域連合議員団年一回の地域外視察を10月16日から17日にかけて行い、議員団10名、地域連合役員2名、合計12名で参加しました。1日目に神奈川県内広域水道企業団、2日目に神奈川県議会・県庁を視察しました。

1日目の神奈川県内広域水道企業団は、神奈川県・横浜市・川崎市・横須賀市が昭和44年に共同で設立した「特別地方公共団体」で、相模川・酒匂川で取水した水を県内6か所の浄水場



場で水道水にし、構成団体が運営する水道事業を通して、24時間365日体制で、生活に欠かせない水を県内に届ける仕組み、管理システムや災害時の備え、今後の計画について、詳細にお話を聞くことが出来ました。

能登半島地震の被災地で断水が続いた大変な状況を踏まえながら、大地震や豪雨災害などで有事が起こった際の対応についても検討されていることも分かり、貴重な意見交換となりました。

2日目は神奈川県議会・県庁を視察、はじめに災害対策本部の説明、自然災害が激甚化する中、神奈川県民の命と暮らしを守ってくれる取り組みを聞くことが出来ました。

その後は県庁のあらゆる会議室や屋上などを視察、更に議員団の会長である、近藤大輔副議長室まで様々な場所や機能について説明を受けながら視

察をすることができました。

今回の視察は広域連携や災害対策などを中心に学ぶことが出来ましたが、この視察を活かして、三浦半島地域連合の政策・制度要求と提言の充実や実現に議員団との連携を強化して取り組んでいきます。

